

平成29年度（大和）不祥事ゼロプログラム実施状況

○ 項目・目標別実施結果

項目	目標	実施結果と目標の達成状況
セクハラ、わいせつ行為の防止	セクハラ、わいせつ行為を未然に防止する。	不祥事防止研修を実施し、部活動等での生徒対応の仕方など、注意喚起を促し、防止することができた。
会計事務等の適正執行	会計事務処理を適正に行い、事故を未然に防止する。	私費会計手順を作成し、研修を行ったことで、事故防止につながった。細かなミスがまだ多いので、チェック機能を充実させ、適切な会計処理を徹底していきたい。
個人情報等管理の徹底	個人情報の適切な取り扱いに努め、個人情報の流出を防止する。	毎月1日の個人情報総点検の日に再確認を促し、事故防止に努めた。特にUSBの管理については、本数を減らし、パスワードの設定を行い、管理の徹底を図った。また、テストの持ち帰りに対しても、状況や必要性を厳密に確認し、許可するように徹底した。
交通事故防止、酒酔い、酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通事故の発生、酒気帯び運転を未然に防止する。	日常の場で、注意喚起を行うとともに、1学期の終わり、年末、年度末には、事例を挙げながら、特に注意して、法令順守の徹底を図った。
進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	調査書・推薦書等、進路関係書類の作成・発行に係る事故を未然に防止する。	調査書作成マニュアルに従い適切に作成した。昨年の担任経験者が副担任として、若手担任を支援し、職員による複数チェックを徹底した結果、事故を防ぐことができた。
入学者選抜における事故防止	入学者選抜において、公平かつ公正に選抜業務を行い、事故を未然に防止する。	業務を全職員で分担し、マニュアルに従って適切に実施した。今年度は、デジタル採点等が加わったが、研修を実施し、職員への周知徹底を行った結果、点検にも余裕を持ち事故なく終了することができた。

○ 平成29年度不祥事ゼロプログラムの達成状況及び平成30年度に取り組むべき課題

(学校長意見)

個人情報総点検の日と合わせて、不祥事防止会議（研修）を実施することで、職員の危機管理意識を1年間維持することができた。タイムリーな朝の打ち合わせの注意喚起も効果があり、4月に私費会計研修や入学者選抜前の事例をあげての研修もタイミングが良かった。平成29年度不祥事ゼロプログラムは、達成できたと判断できる。次年度も個人情報総点検の日と事故防止会議を定期的で開催し、事故防止に努めていきたい。